

第4回審議会における意見・提案と検討結果

資料1

区分	審議会の意見・提案	検討結果
5-1-1	基本的な考え方及び施策3において、「教職員の質の向上」の表現を、子ども達の立場で明記してはどうか。	施策3の取り組み内容について、次の文言を追記します。 「その中で、ICT活用や情報モラルに関する研修、国際理解教育に関する研修などを通して、個々の教職員の指導力を高め、社会の変化に対応できる児童生徒の育成を目指します。」
5-1-1	今後の法改正を見据え、特別支援の対象を小中学生だけでなく、保育園児や幼稚園児に広げた記述ができないか。	現在、国において、子ども・子育て関連3法案の公布を受け、認定こども園、保育所、幼稚園制度の具体の見直しに向けた作業が進められている段階ですので、保育所や幼稚園などの入所児童への特別支援のあり方につきましては、今後、制度の見直しの内容を見極めながら、対応を検討して参りたいと考えております。
5-1-1	現在のいじめ問題を考慮し、人権教育について、子どもの権利に特化した記述ができないか。	施策4の取り組み内容について、次のように修正します。 「…学校と関係機関の連携を密にして、 <u>子どもの人権に関わるいじめや不登校等の未然防止や早期発見・早期対応に努めます。</u> 」
5-1-2	「地域」という文言について、NPOや市民団体、企業などを具体的な例示として明記してはどうか。	基本的な考え方の3段落目を次のように修正します。 「…社会活動への関心を高め、 <u>自治会をはじめとする地縁団体やNPO等各種団体の協力のもと、地域全体で…</u> 」
5-3-3	国際交流の手法として、留学生を多く抱える大学との連携を明記してはどうか。	宮崎市国際交流協会では、留学生と連携したイベントの実施や留学生向けの情報提供を行っているほか、海外の学生の受入れに際しては、ホストファミリーの斡旋に協力するなど、大学と連携した活動を進めておりますので、引き続き現在の施策の中で取り組んでまいります。

審議会委員からの意見・質問と検討結果（メール、FAXによるもの）

区分	意見・質問	検討結果
5-1-1	小中学校の連携事業についても加筆したほうが良いのではないか。	施策1の取り組み内容について、次のように修正します。 「…習熟度別少人数指導等の指導方法の工夫改善等を図るとともに、 <u>小中学校が連携した取り組みを充実させる中で、確かな学力を身に付けていきます。</u> 」